

## 9月議会一般質問解説：家庭ごみの集積場問題の切札！

東海村では、住居付近のごみ集積場を使わず、自らひたちなか市新光町のひたちなか・東海クリーンセンターに家庭ゴミを直接持ち込む方々の車両が年間8,000台を超えて、同センターのごみ処理業務を圧迫しています。

村では10世帯以上の共同で集積場の用地や施設を準備せねばならず、**多様な生活が尊重される現代に有ってハードルが高いルール**が50年前から続いています。

ごみを出すまでの準備は住民側という大原則は有りますが、みかみ修には難しい仕事のように思えますので、近隣市の先進例を参考にして**道路の側溝上に折り畳み式の集積場を村内に設けることを**9月議会定例会の一般質問で提案しました。用地の準備も要らず、設置費用も安く済みます。

東海村は茨城県で「住み続けたいまち第2位」ですが、みかみ修のこの提案を実施したら1位になるかも知れないと思うほど、ごみ処理問題は住民にとって切実なテーマ。

実はこの方式、7年前みかみ修が自治会長時代に、南台団地内で実証済み。**取り扱いが簡単でまちの景観を保護できる優れもの。**この提案をいつ実行するのか見守ります。



側溝上に設置された近隣市の折り畳み式ごみ集積場 左上：使用中、右下：使用後

## 12月議会一般質問解説：村内救急病院の受け入れ能力は？



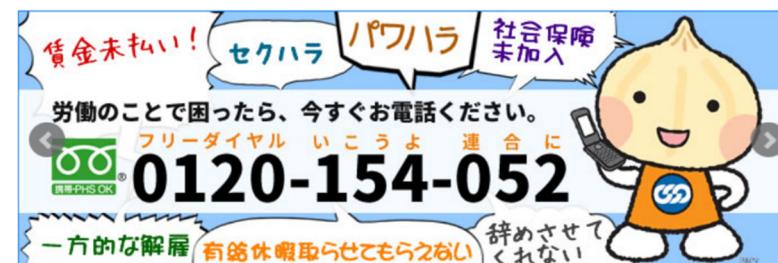
救急車が来ても発車できない

最近、救急車が出動して要救助者宅に到着後、1時間以上その場に停滞し続ける状況が散見されています。全国的に救急病院がひっ迫していますが、**受け入れ病院が決まらずに救急車が動けない状況**が本村でも多発しているのです。

議会一般質問で、村内にある救急受け入れ病院としての村立東海病院と茨城東病院が年間何回救急車を受け入れているのか確認しました。その結果、**村立東海病院だけでも昨年度650回救急を受け入れ、約800回受け入れを辞退**。年間1,500回、1日4回の救急車受け入れ要請があることが判明しました。

村立東海病院は、村内のどこから救急車で向かっても、概ね10分間以内に到着できる場所にあります。まさしく救急車の受け入れは、住民の生命線そのものですから、本村の中核病院と位置付けての運営が望まれます。

救急受け入れは、病院の経営を圧迫するとも言われますが、村立東海病院の救急受け入れ状況に注視し、全力でこの制度を維持してまいります。



私たち**連合茨城**です  
どなたもお気軽にお電話ください



\* この紙面は議会報告であり、勧説や販売促進目的としたチラシや広告ではありません

# みなみ風

Minamikaze Vol. 20

東海村議会議員 みかみ修後援会村政報告 2026(令和8)年 新春号

☎ 090-1837-3989

✉ osamu.mikami.gt@gmail.com



12月議会  
一般質問動画

## 12月議会のトピックス

## 議会傍聴/インターネット傍聴をお待ちしております

### ・帯状疱疹予防接種費用 好評につき増額補正予算可決

みかみ修 12月議会の一般質問 (➡は、東海村の答弁)

1) 東海第二発電所の工事は、安全な再稼働のためにゆっくりと品質の高い工事で再稼働できるよう国に支援を求めるべき  
➡工程の進捗と国の動向に注視して対応する

2) 若者が光り輝くスポーツ推進の展望  
スケートボード場の設置、県内プロスポーツチームによる部活指導の推進を  
➡スケートボード場の実現に向けて課題を整理する

3) 村内救急医療機関の救急車受け入れ実績は (解説は裏面参照)  
➡東海病院は年間650回救急受け入れ、今後も受け入れ確保に努める

4) 自治会に依頼する各種募金の実態とは  
➡住民のプライバシー保護に努める

5) マイナカードの普及率は  
➡東海村は茨城県で3位の高普及率であるが、更なる普及をはかる



9月議会  
一般質問動画

## 9月議会のトピックス

### 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)令和8年度開始

### 不妊治療(先進医療)東海村独自の助成開始

みかみ修 9月議会の一般質問

(➡は、東海村の答弁)

1) 原子力災害の火災をいかに評価するか  
➡公設消防の判定に委ねるが、公設消防による説明は可能

2) 幼稚園・保育所、小学校で避難経路の周知は  
➡各玄関に表示しているが、今後工夫して対応する

3) 各種団体の共同開催事業の管理方針  
➡団体間の財政負担が適正であるよう、交付金や補助金の事務執行に注意する

4) 家庭ごみ集積場問題の解決策 (解説は裏面参照)

➡住民の利便性や安全性の確保に配慮した、集積所の確保も含めたあり方について調査する



ペーパレスのタブレットで一般質問に登壇

## エンディング・ノートは、残された家族を救います その2

前号で少し触れましたところ、反響が多かったので続編を入れました。自分の最期とその後をどのようにしたいのか、元気なうちにちょっとずつ書き記しておく

「エンドディング・ノート」をご存じでしょうか。ある日突然、自分で物事を判断できなくなったら、自分で食事が出来なくなったら、自発的な呼吸が出来なくなったら・・・など、どうして欲しいか自分の言葉で書いておくものです。このほか、対応する家族が困らないよう、電気、ガス、水道、ネット銀行を含む各口座、クレジットカードなどの情報、及び**本人が亡くなても請求が継続する**定期購入の食品や薬品、化粧品、パソコンのソフトウェア、有料メールアドレスなどを今のうちから小まめに書き記しておくことは、残された家族を救います。那珂市では秀逸な取り組みが行われていますので、本村でも推進を提案します。

そして、みかみ修がお奨めしたいのが、**任意後見制度**です。家屋や土地があっても、自ら判断ができない状況になると、その後の生活はままなりません。

任意後見制度は、自分が元気なうちに後見人を定めてその後の事態に備える国の制度です。しかし、毎月一定の費用が発生しますので、みかみ修は、**何らかの財政支援が必要**と考えております。今後、各所に働きかけてまいります。

「終活」などと何か寂しい言葉ですが、みかみ修は**持続可能な社会にあって、自分が確かに生きた証を残し資産を有効に生かす社会活動のひとつ**と位置付けています。

エンディング・ノートは、あなたが確かに生きた証が社会で役立つ「フォーエバー・ノート」(永遠の記録)です。今のうちに書いておくと頭がスッキリして、きっと長生き出来ますね。那珂市のエンディング・ノート「未来の私と家族へ」専門家をお招きして、説明会を計画中です。



那珂市のエンディング・ノート「未来の私と家族へ」

## 須和間地区にスーパー・マーケット誘致中

高齢になって自動車の運転免許証を返納すると、日々の買い物は最上位の課題となってしまいます。このほか、通院や銀行、役場などの手続き諸々のために、地域公共交通の充実は、まさに村民の生命線。

それでは、買い物が出来て銀行 ATM もあるスーパー・マーケットが、住居の近くにあれば、高齢者は随分助かります。令和4年(2022年)12月議会でこの問題を取り上げる前から、開発業者や大規模小売業者の意見を聴取してきました。須和間地区は大型の小売店舗が進出できない「市街化調整区域」。

東海村の開発計画の変更が必要で、少々時間がかかりましたが、このほど須和間地区にスーパー・マーケット出店誘致の運びとなったことが知らされました。

「いつまでも、住み慣れたまちで、お元気に」暮らすことができる東海村を目指して、村も全力で住民を支援しています。市街化地区との住環境の格差は要検討項目。石神地区もスーパーが欲しいですね。☆☆☆



スーパー誘致予定地  
(須和間地内)



つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。



つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。



## エネルギー・アイ Energy Eye

### 明るい未来の みんなの電気



#### 第17回 次の世代に電気を正しく伝えるエネ・ワークショップ@イオン東海店

東海村発足70周年記念行事として、イオン東海店で「エネルギー・ワークショップ」が開催されました。2024年末から2025年2月までイオン東海店のいこいの広場でイルミネーション、7月にはエネルギー・ワークショップが開かれ、村内研究所の研究者や企業の技術者が、子どもたちに電気実験などを披露、小学生によるエネルギー創造の発表会を行いました。また、今年は1月9日まで同広場でイルミネーションを開催。みかみ修監修の作品も2年連続で出展しました。

この活動は、将来のエネルギーの在り方を考えながら、専門家が子どもたちに電気の知識を楽しく伝えるものです。

堂込(どうごみ)まきこ参議院議員：茨城選挙区と山田村長にご来臨いただき、目を輝かせながら課題に取り組む子どもたち



今年もイルミネーションやつてます @イオン東海店

の明るい未来に思いを致し、また、安全で快適な社会を実現するために、24時間盆暮れなく電気を送り続ける電力事業者に心から敬意を示しつつ、夢のある楽しいひとときとなりました。

みかみ修は東海村100周年に向けて、地球と我が国のエネルギーの未来を子どもたちと一緒に考えながら、引き続き正しい電気の理解普及に努めてまいります。



見事な純金製品

中国古代の貨幣  
元宝(馬蹄銀)は  
餃子の原形と言  
われる縁起物

#### 元駐在員が教える、ツアーガ行かない台北 銀樓

「銀樓」とは、主に純金製の置物、指輪、ネックレス、高級なヒスイの腕輪などを販売する貴金属店の総称で、台北市内にも多数点在しています。

干支に因んだ大小のアクセサリーからパンダのコインまでありとあらゆる見事な24Kの黄金色が私たちの目を引きます。どこの店も厳重な防犯システムで少々敷居が高いですが、スツケースを圧迫しないお土産という意味では奨めです。

中華圏では、子どもが生まれると友人や親せきが純金の装飾品を贈呈する習慣があります。小さくても確かな価値のあるものを贈って、その子の末長い幸せを祝う素晴らしい習慣が今も息づいています。

なお、海外旅行などで購入した金製品を日本に持ち込む場合、**20万円までは免税、純度90%以上の金製品を1kg以上持ち込む場合は税関申告と納税**が必要です。



令和8年も至誠一貫、働いてまいりますので引き続き  
ご支援をお願いします。 東海村議会議員 三上 修



つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。



つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。

つくろう、  
新しい答え。